

平成 28 年度 第 1 回 学校評議員会議事録

日 時 平成 28 年 5 月 27 日 (金) 16 : 00~17:15

場 所 本校小会議室

参加者 評議員 井上美奈子 氏 (健康科学大学健康科学部福祉心理学科教授)  
太田 敏夫 氏 (平成 27 年度本校 PTA 会長)  
三井 恵司 氏 (富士吉田市立下吉田中学校長)  
前田 市郎 氏 ((株) 前田源商店 代表取締役)  
職 員 校長・事務長・第一教頭・第二教頭・広報部(記録)

欠 席 評議員 穂坂 路男 氏 (勝山診療所院長)

1. 校長挨拶

吉田高校の学校評議員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

この会は年 3 回開催するが、学校評議員の方々には子どもたちのために是非とも忌憚のないご意見、ご助言をいただきたい。

2. 委嘱状交付

3. 自己紹介 参加者一同

4. 学校評議員の活動に関する説明

- ・山梨県学校評議員設置要綱について
- ・昨年度の活動報告について
- ・今年度の年間活動計画について

5. 本校の概要説明

- ・学校紹介ビデオ
- ・教育目標と学校の概況について

校長より本年度の本校教育目標・経営目標・重点課題に沿って説明

- ・地域の進学校として、将来様々な分野で活躍するリーダーとなる人材の育成を目指している。
- ・学習面だけでなく、健全な勤労意識を身につけられるよう指導している。
- ・文武両道の校風を継続させるとともに、地域・家庭・諸機関との連携、地元中学校との連携、高大の連携を強化していきたい。
- ・「教員の授業改革—教師が教える授業から生徒が自ら学ぶ授業」を推進する。そのために、評価力および ICT の活用により、わかりやすい授業に全教員で取り組む。
- ・生徒には主体性、自立性を身につけさせるとともに、家庭の協力を得ながら登下校時には距離を決めて歩くなど体力の向上にも取り組む。
- ・今年度のスローガンを「Yoshida Pride を可視化する」とする。

## 6. 懇談

### 評議員①

基本的に吉高生は忙しい。登下校時の車での送迎時間が親子のコミュニケーションの時間となっていることもある。一方、距離を決めて歩くことは良い体力づくりになると思う。

### 評議員②

通学時マナーアップ運動については、小中学校と高校で合同して実施できないだろうか。

### 評議員③

コミュニケーションをとることが難しい生徒がいるので、その部分でのサポートが大事になってくることを実感した。  
また、日々の生活の様子を聞いていると、勉強も部活動も大変なようであるが、それをサポートしている先生方のご負担は多大なものではないかと感心している。生徒たちには「考える力」「自己統制能力」を身につけてもらい、感情をコントロールし、学習意欲を高めて頑張ってもらいたい。時間と体調の管理という大変良い目標を掲げられていると思う。

### 評議員④

今年度のスローガンである「Yoshida Pride を可視化する」については、時代にあったスローガンであると思う。意地とプライドあるいは自信と誇りというものが生徒には今後必要になってくる。いかに生徒たちにわかりやすく説明できるかが重要ではないか。

### 職員①

生徒の体調などの管理能力については、昨年のアンケート結果はあまりよくなかった。それが今後の課題になると思う。生徒が自分の身体のことについて考えながら行動できるようになればと思う。

### 職員②

生徒たちは良く勉強している。一方、体調不良を起こす生徒も見かける。もう少し体力をつけなければと思う。

### 評議員①

小中学校でも子どもの貧困が非常に問題になっている。貧困が進学に影響するという実態もある。自治体等でも補助制度が少しずつ広がってきているが、何とかそういうところも気にしていってあげたいということもある。  
前期入試の募集定員の割合が低くなるということについて大賛成だ。  
やはり学力をつけて高校に入学するためにも勉強を続けさせたい。  
学校周辺の道路では登下校時に渋滞するようだが、交通安全についての指導が必要ではないだろうか

## 7. 諸連絡

- ・事務室より

以上